

第4節 医療安全管理業務

1 組織体制の確立

当センターでは患者・医療従事者の安全確保等を目的に、医療安全に関する全般的事項を審議する医療安全管理委員会を設置している。また医療安全推進に向けて実践的に活動する医療安全推進担当者会、各部門の医療安全専門小委員会、有事の医療安全管理体制を担う医療事故対策委員会を設置し、医療事故防止に向けた組織体制を整備している。

医療安全管理室は、医療安全管理室長、専従セーフティマネージャーを配置し、医療安全管理の中心的役割を担い、各部門と連携しながら医療安全の推進に努めている。

2 マニュアルの整備

緊急事態発生時対応マニュアル、救急カート管理マニュアルを改訂した。

3 患者相談窓口の設置

セーフティマネージャーが医療に関する相談について対応する患者相談窓口を設置している。令和元年度は患者相談の要望はなかった。

4 安全への取り組み

(1) 医療安全管理委員会

委員会は副病院長、各診療部（科）長、各部（科）長、事務局長、その他院長が選任する者、25名をもって構成する。

定例会を毎月最終木曜日に設定し、12回開催した。主な検討内容は、以下のとおりである。

- ア 医薬品安全管理報告
- イ 医療機器安全管理報告
- ウ 研修会の企画・結果報告
- エ 医療安全ラウンド報告
- オ 医療安全推進月間事業結果報告
- カ 緊急事態発生時の対応・コードブルー発令方法の変更について
- キ 救急カート管理マニュアルの改正
- ク 医療安全情報の周知
- ケ インシデント事象報告と対応策
- コ 各部門の活動報告
- サ その他

(2) 医療安全推進担当者会

医療安全推進担当者会は、定例会を毎月第三火曜日に設定し、12回開催した。主な検討内容は、以下のとおりである。

- ア 医療安全管理研修会の企画・運営・評価（表1）
講演会は、全職員の他に地域医療機関へも公開した。
- イ 医療安全推進月間事業
毎年11月は厚労省が定める医療安全週間に合わせて医療安全月間としてイベントを企画している。令和1年度は医療安全推進月間ポスターの掲示や、全職員の名札に医療安全の緑色リボンシールを貼付し啓蒙活動を実施した。

患者参加の医療安全を推進するため「患者さんへメッセージかるた」づくりに取り組み、職員から標語を募集した。外来部門に掲示し投票にて選出した標語でかるたを作成中である。

- ウ 医療安全ラウンド
- エ 医療安全に関する情報の周知徹底
- オ 医療安全通知の配布
- カ インシデント事象報告
- キ その他

表1 医療安全管理研修会

| 開催日 | 内容 | 対象者 | 参加人数 |
|-------|--|---------------------|------|
| 4月25日 | 講演会 テーマ「医療安全としての院内心停止を考える ～その先にある心不全連携を見据える～」 講師：医療法人 幸和会 横山内科循環器科医院 院長 横山 広行 氏 ※ビデオ研修 6回実施 | 全職員 地域 公開 | 474名 |

(3) 医療安全管理専門小委員会

各部門又は委員会が指定する特定の課題ごとに、専門小委員会を設置している。各部門におけるインシデントの原因分析・予防策・改善策の検討や、職員に対するインシデントレポートの積極的な提出の推進の関する業務を実施した。

(4) 医療安全カンファレンス

医療安全管理室長、検査技術部長、放射線技術部副部長、薬剤部長、臨床工学部長、看護副部長、業務部長、医療安全推進担当者会委員長、システム保守担当、セーフティーマネージャー、以上10名で構成する。毎週木曜日に定例会を設定し、38回開催した。

提出されたインシデントレポート及び口頭報告から警鐘事例を抽出し対応策の検討を行った。また、新聞報道や他施設の事故事例等について院内の状況確認及び情報共有を行った。

以下は検討、改善した内容の一部である。

- ア 禁忌薬の誤投与防止対策
- イ 患者誤認防止対策（外来診察時、放射線治療、検体検査、書類）
- ウ 誤薬防止対策（過剰投与、過少投与、無投薬）
- エ 体内遺残防止対策
- オ 電子カルテに関連した事故防止対策
- カ 検査・測定に関連した事故防止対策
- キ 透析に関連した事故防止対策
- ク 転倒・転落

表2 インシデント・アクシデントの事象内訳と件数

| 事 象 | 合計 | インシデント | アクシデント |
|----------------|-------|--------|--------|
| 処方・与薬 | 536 | 533 | 3 |
| ドレナチューブ類の使用・管理 | 484 | 480 | 4 |
| 転倒・転落 | 255 | 250 | 5 |
| 検 査 | 237 | 234 | 3 |
| 療養の世話 | 102 | 102 | 0 |
| 治療・処置 | 92 | 79 | 13 |
| 食 事 | 75 | 75 | 0 |
| 手 術 | 61 | 51 | 10 |
| そ の 他 | 226 | 225 | 1 |
| 計 | 2,068 | 2,029 | 39 |

表3 インシデント・アクシデントの職種別報告状況

| 職種 | 合計 | インシデント | アクシデント |
|-------|-------|--------|--------|
| 看護師 | 1,816 | 1,804 | 12 |
| 医師 | 48 | 22 | 26 |
| 放射線技師 | 36 | 36 | 0 |
| 薬剤師 | 35 | 34 | 1 |
| 検査技師 | 35 | 35 | 0 |
| 臨床工学士 | 34 | 34 | 0 |
| 理学療法士 | 7 | 7 | 0 |
| 栄養士 | 44 | 44 | 0 |
| その他 | 13 | 13 | 0 |
| 計 | 2,068 | 2,029 | 39 |

表4 インシデント・アクシデントの時間帯別の発生状況

| 時間帯 | 合計 | インシデント | アクシデント |
|---------|-------|--------|--------|
| 0～ 1時台 | 82 | 80 | 2 |
| 2～ 3時台 | 79 | 79 | 0 |
| 4～ 5時台 | 75 | 75 | 0 |
| 6～ 7時台 | 159 | 159 | 0 |
| 8～ 9時台 | 250 | 245 | 5 |
| 10～11時台 | 281 | 271 | 10 |
| 12～13時台 | 212 | 211 | 1 |
| 14～15時台 | 236 | 229 | 7 |
| 16～17時台 | 278 | 272 | 6 |
| 18～19時台 | 161 | 159 | 2 |
| 20～21時台 | 132 | 129 | 3 |
| 22～23時台 | 101 | 101 | 0 |
| 不明 | 22 | 19 | 3 |
| 合計 | 2,068 | 2,029 | 39 |

第5節 地域医療連携室業務

地域医療連携室は、近隣医療機関、開業医、訪問看護ステーション、福祉サービス機関等との連携を図るとともに、医療相談、看護相談、医療福祉相談、退院調整業務、情報発信等の業務を行っている。他院からの診療情報に関する照会及び相談の対応、紹介元医療機関への初回受診報告及び転帰報告、県民に対する適切な診療科の受診案内、地域医療機関との連携会議などを通じて、高度専門医療を提供するための環境の充実を図っている。

令和元年度の職員構成は、医師1名（兼務）、主幹3名（兼務2名）、MSW3名（常勤1名・非常勤2名）、看護師7名（常勤）、事務3名で（常勤1名・臨時職員2名）であった。また、病診連携担当、患者サポート担当（患者サポート・医療福祉相談）、退院支援担当（病棟に専任職員を配置）の業務分担をし、円滑な対応に努めた。

病診連携としては、地域の病院と患者の診療においてスムーズに連携が図れるように努め、医師と事務員が44医療機関訪問（病院25件、クリニック19件）を実施、事務員のみが91医療機関訪問（病院8件、クリニック83件）を実施し地域連携の強化を図った。

患者サポート担当は、患者・家族が安心して入院中の療養生活を送ることができるようMSWによる医療福祉相談や看護師による看護相談を実施した。院内・外の相談窓口として医療機関や施設、担当部署等と連携を図り医療連携や在宅療養支援を実施した。

退院支援担当は、入院初期に患者の入院前の生活状況を把握し、退院後の生活を見据えて患者・家族の思いに寄り添いながら、多職種と連携・協働し退院支援機能を充実させた。また、後方連携が円滑にいくように64施設（病院32件、訪問看護ステーション14件、施設18件）への訪問を実施した。

平成29年度から開始した「出張いきいき健康塾」は、近隣8市町村の会場に出向き19回実施することができた。

1. 地域医療連携室における対応件数

1) 病診連携（表1）

令和元年度の対応件数は3,843件であった。その中で、受診・医療相談が1,869件（約49%）で最も多かった。緊急受診による診療情報提供依頼や転院相談の問い合わせが増加しており、地域医療連携室間で連携を取りながら行った。

表1 地域医療連携室対応件数

| 内容 | 令和元年度（実数） | 平成30年度（実数） |
|--------------|-----------|------------|
| 診療情報提供・照会 | 1,026 | 1,080 |
| 受診・医療相談 | 1,869 | 1,655 |
| 経済的問題 | 141 | 171 |
| 社会的問題 | 405 | 338 |
| 心理的問題 | 47 | 80 |
| セカンドオピニオンの相談 | 55 | 47 |
| その他 | 300 | 240 |
| 合計 | 3,843 | 3,611 |

2) 医療福祉相談（表1）

相談で多かったのは受診・医療相談であり、患者・家族からの相談や医療機関からの専門的な治療に関連した相談が多く、関連部署、各科医師と連携を図り対応した。

また、訪問看護・訪問診療の導入や介護支援専門員と連携しながら在宅療養支援を実施した。

経済的・社会的問題の相談は増加しており、「無保険や低所得の患者」「高齢世帯・単身世帯のため在宅介護が受けられない」などの問題が多かった。それらの問題は、高額療養費制度や限度額適用認定証の説明、介護保険など社会保障制度の情報提供で解決できたことが多かった。

そのため患者・家族が社会保障制度の情報へアクセスしやすいように「いきトク情報」を適宜改定し、相談時に活用した。さらに、行政機関との合同会議、連絡調整を密に行うことで円滑に地域に繋げた。

心理的相談も増加しており、患者・家族の抱える問題が深刻かつ複雑で、長期間の関わりを要し難航する場合も多かった。必要に応じて、他機関へ連絡を取り、専門的支援に繋ぐことで解決した。

3) 医療機器共同利用件数 (表2)

表2 医療機器共同利用件数

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|-------------|-------|----------|
| 核医学検査依頼件数 | 51 | 102 |
| 放射線機器共同利用件数 | 12 | 23 |
| 生理検査依頼件数 | 15 | 9 |

医療機器共同利用件数は、他院から放射線検査及び生理検査の依頼を受けており、依頼件数は前年度と比べ56件減少した。

2 病棟における退院支援・調整に関する対応件数 (入院実数6,406名) (表3)

表3 退院支援・調整に関する対応件数

| 内 容 | 令和元年度 | 平成 30 年度 |
|--------------------|-------|----------|
| 退院時共同指導カンファレンス実施 | 96 | 85 |
| 介護支援等連携指導カンファレンス実施 | 215 | 243 |
| 退院支援介入件数 | 1201 | 916 |
| 内訳) 転院支援 | 462 | 213 |
| 在宅支援 | 586 | 561 |

退院支援の介入数は、年々増加傾向にある。今年度は、脳神経センター開設に伴い入院患者が増加し、早期から退院支援が介入し回復期病棟への転院につながるケースが増加した。

院外連携においては、退院支援看護師が患者の入院前の生活や、介護支援の状況を介護支援専門員や訪問看護師から積極的に情報収集し、在宅支援に向けて入院直後から退院後の生活を見据えて介護保険の利用や、在宅医療調整等を実施することができた。また、入院中に行われていた医療・看護をどのように退院後も継続していくかを検討するため、介護支援等連携指導カンファレンスや退院時共同指導カンファレンスが増加した。これらのカンファレンスを実施し、退院後の医療・介護・福祉の切れ目ない在宅療養支援に繋げることができた。

3 出張いきいき健康塾 (表4)

出張いきいき健康塾は、表4に示すように6つのテーマで8市町村19回実施した。市町村の関係部署と連携を取りながら実施することができた。

1) 講師とテーマ

- (1) 「意外な症状の循環器疾患」 心臓外科医長 中村賢
- (2) 「心臓の手術って怖いのか？」 心臓外科医長 中村賢
- (3) 「弁膜症ってどんな病気？～最新の診断と治療とは～」 循環器内科副部長 宮本敬史
- (4) 「肺がん診療～最近の進歩～」 呼吸器外科科長 高橋伸政
- (5) 「急げ！脳卒中～脳卒中治療の最前線～」 脳神経センター長 吉川雄一郎
- (6) 「がんってどんな病気？ 私たちにできる予防法」 感染対策部長 倉島一喜

2) 開催市町村及び共催・後援等

- (1) 熊谷市：健康づくり課、熊谷市医師会（1回）
- (2) 深谷市：花園公民館、深谷寄居医師会（3回）
- (3) 深谷市：深谷市保健センター、深谷寄居医師会、深谷赤十字病院（1回）
- (4) 大里郡寄居町：健康福祉課保健指導班、深谷寄居医師会（2回）
- (5) 大里郡寄居町：町立城南中学校（1回）
- (6) 本庄市：保健部健康推進課、本庄市児玉郡医師会（2回）
- (7) 東松山市：東松山市、比企医師会（2回）
- (8) 秩父市：保健医療部、秩父郡市医師会（1回）
- (9) 行田市：行田市保健センター、行田市医師会（3回）
- (8) 鴻巣市：健康づくり課、鴻巣市医師会（3回）

表4 出張いきいき健康塾開催実績表

| 回数 | 開催日 | 時間 | 講師 | 会場 | 参加人数 |
|----|--------------|---------|----|-----------------|------|
| 1 | H31年4月27日(水) | 14時～15時 | 中村 | 東松山市 松山市民活動センター | 24 |
| 2 | R元年6月6日(木) | 14時～15時 | 宮本 | 深谷市 花園公民館 | 58 |
| 3 | 7月18日(水) | 14時～15時 | 中村 | 本庄市 本庄市保健センター | 74 |
| 4 | 7月29日(月) | 14時～15時 | 高橋 | 寄居町 寄居町役場 | 64 |
| 5 | 8月7日(水) | 14時～15時 | 吉川 | 鴻巣市 鴻巣市文化センター | 28 |
| 6 | 8月22日(木) | 14時～15時 | 宮本 | 本庄市 本庄市保健センター | 58 |
| 7 | 9月2日(月) | 14時～15時 | 吉川 | 熊谷市 熊谷商工会議所 | 39 |
| 8 | 9月5日(木) | 14時～15時 | 宮本 | 行田市 行田市保健センター | 39 |
| 9 | 9月27日(木) | 14時～15時 | 高橋 | 東松山市 松山市民活動センター | 7 |
| 10 | 10月24日(木) | 14時～15時 | 高橋 | 行田市 行田市保健センター | 24 |
| 11 | 11月7日(木) | 14時～15時 | 中村 | 深谷市 深谷生涯学習センター | 108 |
| 12 | 11月8日(金) | 14時～15時 | 吉川 | 秩父市 秩父宮記念館 | 29 |
| 13 | 11月21日(木) | 14時～15時 | 高橋 | 深谷市 花園公民館 | 28 |
| 14 | 11月29日(金) | 14時～15時 | 吉川 | 寄居町 寄居町役場 | 70 |
| 15 | 12月12日(木) | 14時～15時 | 宮本 | 鴻巣市 鴻巣市文化センター | 7 |
| 16 | 12月19日(木) | 13時～14時 | 倉島 | 寄居町 町立城南中学校 | 113 |
| 17 | R2年1月8日(水) | 14時～15時 | 吉川 | 行田市 行田市保健センター | 31 |
| 18 | 1月9日(木) | 14時～15時 | 中村 | 鴻巣市 鴻巣市文化センター | 20 |
| 19 | 2月12日(水) | 14時～15時 | 吉川 | 深谷市 花園公民館 | 48 |
| 合計 | | | | | 869 |

第6節 診療材料等管理業務

備品及び診療材料等を適正に選定又は採用するため、備品・診療材料選定委員会を設置している。

令和元年度は25回の委員会を開催し、15件の備品選定を行うとともに、下表のとおり、診療材料及び試薬の採用・削除について審議・検討を行った。

また、平成25年10月1日からはSPDを開始し、平成30年8月1日より株式会社栗原医療器械店に診療材料・試薬（医薬品に該当するもの等を除く）の購入と供給を委託した。（契約期間令和3年9月30日まで）

【診療材料等の採用件数】

| 種 類 | 新 規 採 用 | 緊急規程適用承認 |
|------|---------|----------|
| 診療材料 | 34 件 | 0 件 |
| 試 薬 | 12 件 | 0 件 |

【診療材料等採用・削除品目数】

| | |
|------------|----------|
| 削 除 品 目 数 | 60 品目 |
| 採 用 品 目 数 | 1,248 品目 |
| 令和元年度末総品目数 | 7,252 品目 |

※上記SPD業者が品目の見直し作業を実施した。

第7節 図書室の業務

図書室の状況

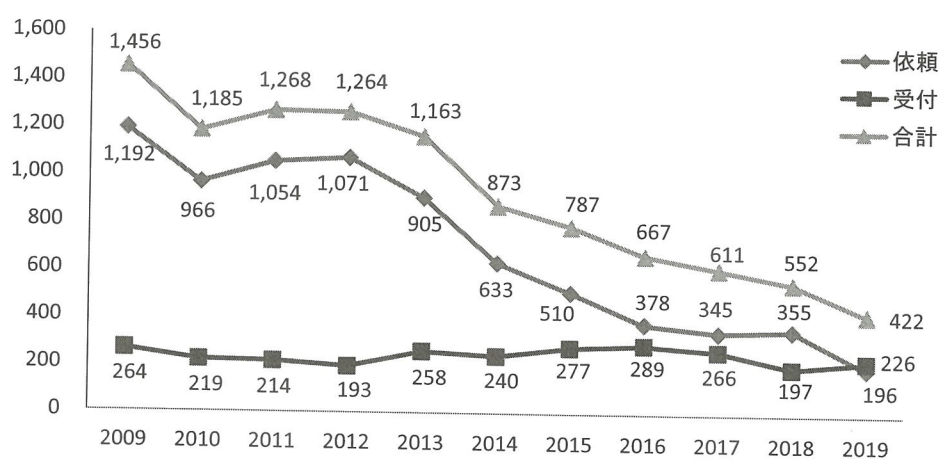
1 蔵書数

| 資料区分 | 蔵書数 | 令和元年度受入数 | 令和元年度受入雑誌数 (タイトル数) |
|---------|--------|----------|-----------------------|
| 単行本 | 9,801冊 | 87冊 | 洋雑誌29誌※ |
| ビデオ・DVD | 509本 | 0本 | 和雑誌84誌※ |

※電子ジャーナルを含む

2 文献相互貸借の推移

| | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 2013 | 2014 | 2015 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 |
|----|-------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 依頼 | 1,192 | 966 | 1,054 | 1,071 | 905 | 633 | 510 | 378 | 345 | 355 | 196 |
| 受付 | 264 | 219 | 214 | 193 | 258 | 240 | 277 | 289 | 266 | 197 | 226 |
| 合計 | 1,456 | 1,185 | 1,268 | 1,264 | 1,163 | 873 | 787 | 667 | 611 | 552 | 422 |



第2編
研究編

第1章 研究施設における研究

1. はじめに

県民の希望する先進医療を実践するために、本センターが循環器、呼吸器疾患に関する日本有数の医療機関になるには、世界的レベルで評価される新しい診断や治療の技術を開発していく必要がある。

本研究施設は、これを目標として以下のような基本方針を掲げ、本センターの活動の一端を担っている。

2. 運営方針

2.1 基本方針

- ・ つねに世界の最先端を目指し、独創性が高く、波及効果の大きい研究を行う。
- ・ 臨床への応用を目指したテーマを中心に研究活動を行う。
- ・ 医師や技師が創造性を最大限に発揮できるように支援する。

2.2 運営方針概要

1. 国内外の研究ネットワークを構築し、大学等の他の研究機関と共同研究を積極的に行うことで研究の活性化と迅速化を図る。
2. 実用性の高い研究については、製品化を考慮すると企業との共同研究が必須となるため、これに見合った共同研究システムを構築していく。
3. 理工学系の研究スタッフの参加により、従来の医療スタッフだけでは実行不可能だった研究を実施できる支援体制を作る。

具体的には以下のようなことを行っている。

- ・ 研究テーマの選定に関して助言をする。
 - ・ 研究計画に対して工学的側面から助言する。
 - ・ 市販品にはない特殊な研究機器を試作する。
 - ・ 計測システムに関して助言または構成の支援をする。
 - ・ シミュレーション等により実験結果を理論面から予測する。
 - ・ 実験結果の解析手法に関して技術的な支援をする。
 - ・ 実験結果に対して工学的側面から考察を加える。
 - ・ 工学的側面の強い研究においては単なる支援に止まらず共同で研究を行う。
 - ・ 研究を円滑に進めるために研究ネットワークを利用して、研究内容に見合った外部機関の研究協力者（大学、公立研究機関等の人材）を紹介する。
 - ・ 若手医師や技師に研究活動に関連した一般知識（研究活動のしかた、論文作成発表手順等）の教育と援助を行う。
 - ・ 医師や技師が知っておくべき工学分野の知識を伝達する。
 - ・ 医学に関連した工学分野におけるトピックスを提供する。
4. センターに勤務する医師や技師の研究計画は、原則としてセンター内公募とし、研究委員会にて採否を決定する。
 5. センター外の研究者が当施設を利用して学術的に意義のある研究をしたい場合も、当センター医療職員との共同研究として公募研究の場合と同様に扱う。
 6. 研究のカテゴリーを以下のように分類し、実験研究の目標を明確化する。
 - a) 新奇性・独創性が高い研究（世界初か否かを問う）
 - b) 質的波及効果が高い研究

- c) 量的波及効果が大きい研究
 - d) 従来の方法の理論面からの研究
 - e) 実践的效果がある実験
 - f) 教育的効果がある実験
7. 研究成果の最終評価を厳しく行い、成果獲得のための投資効率を高める。
 8. 研究で得られた成果は、報告書にまとめ、また報告会を開くことで、だれもがアクセスできるよう管理する。
 9. 動物実験はすべてNIH基準を満足させることを条件とする。

3. 研究概要

令和元年度に行われた公募研究を含めた主要研究テーマ及び研究内容の概略を以下に示す。

これらの研究は、まだ研究を開始したばかりで実験系の確立を試みている段階のものもあるが、独創性の高いものや、実用性の高いものが多く、今後の成果が期待される。

持続的硬膜外腔脊髄冷却システム

大動脈瘤手術の深刻な合併症である対麻痺を回避する目的で開発した持続的硬膜外腔脊髄冷却システムは、長年にわたる動物実験で満足のいく結果を示すことができた。この成果をもとに世界初の臨床応用を目指して、システムの性能面や安全面でなお一層の向上を図るべく検討を進めた。カテーテルの経皮的挿入を実現し、胸部大動脈瘤手術例に適用して、その安全性、有用性を確認しつつあり、対麻痺の発生回避率はきわめて高い。過去に類型を見ない新技術であり、現在、医師主導の臨床治験から本邦PMDA（米国のFDAに相当）主導の治験への移行期である。工学的側面から冷却システムのメカニズムをコンピュータにより解析し、冷却効果の裏付けを進めている。最終的に製造承認を得て、臨床に送り出すべく鋭意検討中である。将来は脊髄外傷による四肢麻痺などの治療にも応用できる可能性さえ秘めていると期待している。

以下に令和元年度に行われた公募研究テーマを示す。

1. ^{111}In -オクトレオスキャン+ $^{99\text{m}}\text{Tc}$ -MIBI安静時2核種心筋シンチを用いた心臓サルコイドーシスの活動性評価
2. 冠動脈造影CT検査画像を用いた冠動脈血流解析－仮想手術による血流シミュレーションに基づいた吻合部位の検討および術後の評価－
3. 閉塞性動脈硬化症におけるウェアラブル端末での監視下運動療法の有用性
4. クォンティフェロン（QFT-TB2G）の臨床応用－QFT-goldの臨床応用－
5. 市中肺炎における起因菌の検討
6. 特発性肺線維症と鳥関連慢性過敏性肺炎の鑑別・診断における鳥特異抗体の有用性の検討
7. 急性経過の、間質性肺炎を思わせる臨床経過・画像を呈する症例におけるウイルス肺炎の頻度と特徴に関する検討
8. 原発性肺癌におけるPD-L1発現の不均一性の研究
9. 肺癌手術に使用するエネルギーデバイスの安全性に関する検討
10. マイクロ操作練習における技術評価システムの導入による術者教育の試み
11. G蛋白質共役型受容体の活性調節に着目した脳血管攣縮の病態解明
12. 椎骨動脈解離の網羅的ゲノム解析による関連遺伝子の同定
13. 脳神経外科領域における3Dプリンターモデルを用いた術前活用と患者満足度に関する調査
14. 無侵襲混合血酸素飽和度監視システムを用いたくも膜下出血後血管攣縮評価

15. 術前腎機能低下合併心臓手術患者における腎障害マーカーの変化
16. レミフェンタニル麻酔下開心術時のケタミン少量持続投与は、術後離床を早めるか？
17. 人工心肺使用症例における急性腎障害の発生に対し尿中バイオマーカーL-FABPを使用し急性腎障害の早期予測と体外循環操作の改善が可能か検討
18. 有限要素法を用いた脊髄冷却カテーテルの冷却効果のコンピュータシミュレーション解析およびブタモデルによる実験的検討

第2章 病院における研究等

1 著書

循環器内科

塚田 尚子

1. TI/BMIPP dual myocardial SPECT proves the efficacy of surgical treatment for an adult with Bland-White-Garland syndrome. Journal of Cardiology Cases.
2. Unicuspid aortic valve concomitant with aortic insufficiency presenting with infectious endocarditis: a case report. Journal of Medical Case Reports.

2020.2月 メジカルビュー社 心臓・大血管画像診断 勘ドコロ 好酸球性心筋炎
藤井 真也、中島 嵩智

放射線科

高田直美. アレルギー性気管支肺真菌症の診療の手引き 画像所見 33-39, 2019-6

呼吸器外科

高橋伸政「内視鏡外科手術・役立つテクニック100」[自動縫合器の選択] 3. 気管支

脳神経外科

吉川雄一郎：内頸動脈前壁動脈瘤の外科治療. 菊田健一郎(編), 新NS NOWシリーズNp.17 動脈瘤・専門医になるための基本的ポイント, メジカルビュー社, 東京, 130-141, 2019

放射線技術部

大澤 伸：血管診療技師(CVT)テキスト 脈管診療にかかわるすべてのスタッフのために
総論 3章 血管診療技師の役割 CVT診療放射線技師の役割
血管診療技師認定機構 編集 南江堂 発行 2019.6

2 論文

循環器内科

2019.4月 JACC : Cardiovascular Interventions

Transcatheter Tumor Biopsy Combined With Balloon Pulmonary Angioplasty in Diagnosing Intravascular Pulmonary Small Cell Carcinoma

Shinya Nagayoshi 1, Shinya Fujii, Takatomo Nakajima, Makoto Muto

武藤 誠 JACC:Journal of the American College of Cardiology

A Novel Algorithm for Treating Chronic Total Coronary Artery Occlusion

12 November 2019,Pages2392-2404

武藤 誠 Catheterization&Cardiovascular Interventions

Assessment of reattempted percutaneous coronary intervention strategy for chronic total occlusion after prior failed procedures:Analysis of the Japanese CTO-PCI Expert Registry
2020年3月6日、Pages516-524

武藤 誠 Euro intervention

Successful guidewire crossing via collateral channel at retrograde percutaneous coronary intervention for chronic total occlusion:the J-Channel score.

2020年3月

血管外科

Shimizu R, Fukuda H, Kikuchi Y, Yanaka H, Hata N, Yamazaki M, Nakatani Y, Tamura Y, Yamakoshi S, Kawabe A, Horie Y, Sugimura H, Matsushita Y, Nakamoto T, Yasu T. Clinically feasible method for assessing leukocyte rheology in whole blood. Heart Vessel. 2020; 35(2): 268-277. Doi: org/10.1007/s00380-019-01486-y

心臓外科

A Concern About 2-Minute Glutaraldehyde-Treated Autologous Pericardium for Mitral Valve Repair - Reply -

Ken Nakamura, Kazuhiro Hashimoto.

Circulation Journal doi:10.1253/circj.CJ-18-1389

放射線科

Ishiguro T, Kobayashi Y, Uozumi R, Takata N, Takaku Y, Kagiya N, Kanauchi T, Shimizu Y, Takayanagi N. Viral Pneumonia Requiring Differentiation from Acute and Progressive Diffuse Interstitial Lung Diseases. Intern Med.2019;58(24):3509-3519.

Ishiguro T, Kojima A, Takata N, Takayanagi N. Treatment of allergic bronchopulmonary mycosis: Experience of 55 patients with 124 relapses-A descriptive study. Clin Case Rep. 2019 Sep 18;7(11):2027-2035.

呼吸器内科

Diffuse alveolar hemorrhage caused by IgA deposition associated with multiple myeloma.
Furube A, Kagiya N, Ishiguro T, Takaku Y, Kurashima K, Shimizu Y, Takayanagi N.
Clin Case Rep. 2019 Apr 16;7(5):1049-1052.

アレルギー性気管支肺真菌症の診療の手引き
高柳 昇
医学書院 2019年6月15日

Acute thrombotic vascular events complicating influenza-associated pneumonia.
Ishiguro T, Matsuo K, Fujii S, Takayanagi N.
Respir Med Case Rep. 2019 Jun 14;28:100884.

Primary rhinovirus pneumonia in which bronchoalveolar lavage fluid yielded human rhinovirus.
Ishiguro T, Yoshida Y, Kobayashi Y, Shimizu Y, Takayanagi N.
Respir Med Case Rep. 2019 Jul 19;28:100910.

Allergic Bronchopulmonary Mycosis Caused by Schizophyllum commune: A Special Interest in Positive Culture of Other Basidiomycetes Fungi.
Ito A, Ishiguro T, Takaku Y, Kagiya N, Kamei K, Takayanagi N.
Intern Med. 2019 Aug 21. doi: 10.2169/internalmedicine.2694-19.

ニューマトセルを形成したインフルエンザウイルス・黄色ブドウ球菌による肺炎の1例
小島 彩子, 石黒 卓, 山田真紗美, 高久洋太郎, 鍵山 奈保, 高柳 昇
日呼吸誌, 8(5): 322-326, 2019

Two Cases of Primary Human Parainfluenza Virus 1 Pneumonia in Which Bronchoalveolar Lavage Fluid Yielded Human Parainfluenza Virus 1.
Ishiguro T, Kobayashi Y, Takano K, Ozawa R, Shimizu Y, Takayanagi N.
Intern Med. 2019 Sep 11. doi: 10.2169/internalmedicine.3435-19.
Fatal Primary Human Bocavirus Pneumonia in an Immunocompetent Adult.
Ishiguro T, Hirota S, Kobayashi Y, Takano K, Kobayashi Y, Shimizu Y, Takayanagi N.
Intern Med. 2019 Oct 7. doi: 10.2169/internalmedicine.3583-19.

Two cases of primary human parechovirus pneumonia in adults.
Nishida T, Ishiguro T, Takano K, Isono T, Kobayashi Y, Shimizu Y, Takayanagi N.

Respir Med Case Rep. 2019 Oct 16;28:100949.

ヒトメタニューモウイルスによるびまん性急性感染性細気管支炎の1例
高野賢治, 石黒 卓, 小澤亮太, 小林康人, 清水禎彦, 高柳 昇
日呼吸誌, 8(6): 401-404, 2019

Comparison between Patients with Chest Infection due to *Klebsiella* spp. and *Streptococcus pneumoniae*.

Ishiguro T, Uozumi R, Yoshioka H, Nishida T, Takayanagi N.
Intern Med. 2019 Nov 22. doi: 10.2169/internalmedicine.3531-19.

Treatment of allergic bronchopulmonary mycosis: Experience of 55 patients with 124 relapses-A descriptive study.

Ishiguro T, Kojima A, Takata N, Takayanagi N.
Clin Case Rep. 2019 Sep 18;7(11):2027-2035.

Viral Pneumonia Requiring Differentiation from Acute and Progressive Diffuse Interstitial Lung Diseases.

Ishiguro T, Kobayashi Y, Uozumi R, Takata N, Takaku Y, Kagiya N, Kanauchi T, Shimizu Y, Takayanagi N.
Intern Med. 2019;58(24):3509-3519.

対側肺に肺腺癌を伴った画像的に限局性であった肺胞蛋白症の1例
古部 暖, 鍵山 奈保, 高柳 昇
日呼吸誌, 9(1): 48-52, 2020

A Case of Remitting Seronegative Symmetrical Synovitis with Pitting Edema Syndrome Complicated with Organizing Pneumonia.

Hosoda C, Ishiguro T, Morimoto Y, Furube A, Isono T, Shimizu Y, Takayanagi N.
Intern Med. 2020 Jan 17. doi: 10.2169/internalmedicine.3713-19.

高度横紋筋融解症を合併したレジオネラ肺炎の1例

小島 彩子, 石黒 卓, 山田真紗美, 清水 泰輔, 佐野 達郎, 高柳 昇
日呼吸誌, 9(2): 137-140, 2020

Changes in airway diameter and mucus plugs in patients with asthma exacerbation.

Yoshida Y, Takaku Y, Nakamoto Y, Takayanagi N, Yanagisawa T, Takizawa H, Kurashima K.
PLoS One. 2020 Feb 27;15(2):e0229238. doi: 10.1371/journal.pone.0229238. eCollection 2020.

呼吸器外科

Sho Horiuchi, Yuichi Saito, Atsuka Matsui, Nobumasa Takahashi, Tomohiko Ikeya, Eishin Hoshi, Yoshihiko Shimizu, Masanori Yasuda. A novel loop mediated isothermal amplification

method for efficient and robust detection of EGFR mutations International Journal of Oncology. 2020;56:743-749.

Yuichi Saito, Sho Horiuchi, Hiroaki Morooka, Takayuki Ibi, Nobumasa Takahashi, Tomohiko Ikeya, Yoshihiko Shimizu, Eishin Hoshi. Inter-tumor heterogeneity of PD-L1 expression in non-small cell lung cancer. J Thorac Dis. 2019;11:4982-4991.

Chiaki Hosoda, Takashi Ishiguro, Nobumasa Takahashi, Nobufumi Kamiishi, Yoshihiko Shimizu, Noboru Takayanagi. Spontaneous regression of primary endobronchial extranodal marginal zone lymphoma of mucosa-associated lymphoid tissue. Respiratory Medicine Case Reports. 2019;27.

脳神経外科

(英文)

Neki Hiroaki, Yonezawa Azusa, Shibata Aoto, Tsukagoshi Eisuke, Yamane Fumitaka, Ishihara Shoichiro, Kohyama Shinya : A minimally invasive approach for the treatment of isolated type intracranial dural arteriovenous fistula in a neurosurgical hybrid operating room. Interdisciplinary Neurosurgery ; 21(100762), 2020. (原著)

Yonezawa Azusa, Neki Hiroaki, Mizuhashi Satomi, Otsuka Toshihiro, Tsukagoshi Eisuke, Yamane Fumitaka, Kohyama Shinya : Case of a Patient Who Developed Basilar Artery Occlusion after Treatment of Traumatic Vertebral Artery Dissection with Proximal Coil Occlusion. JNET(journal of neuroendovascular therapy);13(10): 430-434, 2019. (症例報告)

Ogura Takeshi, Kowata Kazuma, Nakajima Mayu, Neki Hiroaki, Oomori Shigehiro : Nonsurgical treatment of obstructive hydrocephalus by face-down positioning: Report of four cases. Interdisciplinary Neurosurgery; 20(100695), 2020. (症例報告)

Kikkawa Y, Kayahara T, Teranishi A, Shibata A, Suzuki K, Kamide T, Ikeda T, Kurita H. Predictors of the Resolution of Cavernous Sinus Syndrome Caused by Large/Giant Cavernous Carotid Aneurysms After Parent Artery Occlusion with High-Flow Bypass. World Neurosurg 132: e637-e644, 2019 (原著)

Kikkawa Y, Suzuki K, Teranishi A, Tachikawa T, Kurita H: Ruptured intrameatal AICA aneurysm associated with obstructed internal auditory artery in a patient with subarachnoid hemorrhage and sudden hearing loss. Acta Neurochir (Wien)161:403-406, 2019. (症例報告)

Otsuka M, Kikkawa Y (連絡著者) , Kamide T, Suzuki K, Shibata A, Ikeda T, Kurita H: Factors related to improvement of cerebrovascular reserve after superficial temporal artery to middle cerebral artery anastomosis for patients with atherosclerotic steno-occlusive disease. Acta Neurochir (Wien) 161(4):799-805, 2019. (原著)

Kayahara T, Kikkawa Y (連絡著者) , Kamide T, Komine H, Suzuki K, Shibata A, Ikeda S, Ikeda T, Kurita H: Predictors of subacute hematoma expansion requiring surgical evacuation after initial conservative treatment in patients with acute subdural hematoma. *Acta Neurochir (Wien)* 162: 357-363, 2020. (原著)

Maeda T, Kamide T, Kikkawa Y, Kurita H, Koyama S: Incidence, predictors, and outcome of calcified cerebral emboli detected in patients who underwent endovascular procedures. *Clin Neurol Neurosurg* 2020 Jan 24;11:13. doi: 10.25259/SNI_493_2019. (原著)

Tabata S, Kamide T, Ikeda T, Kikkawa Y, Koyama S, Kurita H: Trans-lamina terminalis approach assisted by endovascular temporary basilar artery occlusion for high-positioned recurrent basilar apex aneurysm: technical case report. *Surg Neurol Int* 2020 Jan 24;11:13. doi: 10.25259/SNI_493_2019. (症例報告)

Kimura T, Kamide T, Onodera K, Tabata S, Shibata A, Takeda R, Ikeda T, Kikkawa Y, Iihoshi S, Koyama S, Kurita H: Clinical features of neurogenic pulmonary edema in patients with subarachnoid hemorrhage. *World Neurosurg* 135: e505-e509, 2020. (原著)

Ikegami M, Kamide T, Ikeda T, Kikkawa Y, Kurita H: Atypical postoperative radiographical findings in a patient with moyamoya disease: A case report. *Radiol Case Rep* 14(4):476-479, 2019. (症例報告)

Tsuchiya R, Kamide T, Nakajima H, Torio T, Nemoto M, Suzuki K, Kikkawa Y, Kurita H: The distance of cervical vertebral dislocation could be a risk factor for blunt vertebral artery injury after traumatic cervical spine injury. *Acta Neurochir (Wien)* 161: 2359-2363, 2019. (原著)

Fushihara G, Kamide T, Kimura T, Takeda R, Ikeda T, Kikkawa Y, Araki R, Kurita H: Factors associated with early seizures after surgery of unruptured intracranial aneurysms. *Clin Neurol Neurosurg* 178: 93-96, 2019. (原著)

Fushihara G, Kamide T, Kimura T, Takeda R, Ikeda T, Kikkawa Y, Araki R, Kurita H: Response to Letter "Bias in Determining Factors Associated With Early Seizures After Surgery of Unruptured Intracranial Aneurysms". *Clin Neurol Neurosurg* 181: 67, 2019. (letter)

Kato Y, Hayashi T, Suzuki K, Maruyama H, Kikkawa Y, Kurita H, Takao M: Resumption of Direct Oral Anticoagulants in Patients with Acute Spontaneous Intracerebral Hemorrhage. *J Stroke Cerebrovasc Dis* 28: 104292, 2019. (原著)

Yanagawa T, Takao M, Yasuda M, Kamide T, Sato H, Suzuki K, Ikeda T, Kikkawa Y, Kurita H: Clinical and neuropathologic analysis of intercerebral hemorrhage in patients with cerebral amyloid angiopathy. *Clin Neurol Neurosurg* 176:110-115, 2019. (原著)

<和文>

吉川雄一郎：基本をマスター 脳神経外科手術のスタンダード：脳動脈瘤手術レベルアップ3 傍鞍部内頸動脈瘤のクリッピングにおける前床突起削除と硬膜輪開放. 脳神経外科速報 30: 84-89, 2020

根木宏明、河原崎秀一、相澤浩一、石井健介：臨床研究の知識update (5)脳神経外科領域の医療機器開発への期待. Neurological surgery(脳神経外科) ; 47(6) : 688-694, 2019

古峰弘之, 寺西亮雄, 栢原智道, 武 裕士郎, 池上方基, 吉川雄一郎, 栗田浩樹：頭蓋外血栓化頸動脈瘤の1例. 脳神経外科 47(6): 653-658, 2019

柴田碧人、吉川雄一郎、武田純一、鈴木海馬、栢原智道、松澤良、木村辰規、神山信也、塩川芳昭、栗田浩樹：細菌性脳動脈瘤の治療経験. Mt Fuji Workshop on CVD 36: 109-113, 2019

塚越瑛介、吉川雄一郎、寺西亮雄、中島(古峰)弘之、栗田浩樹：保存的加療中に非典型的な脳梗塞を生じた急性硬膜下血種の2例. CT研究 41 (1): 31-36, 2019

武裕士郎、池田俊貴、吉川雄一郎、上出智也、吉川信一郎、古峰弘之、根本学、栗田浩樹：箸による経頭蓋底穿通性脳損傷の一例. 神経外傷 42 : 54-58, 2019

栗田浩樹、竹田理々子、吉川雄一郎、池田俊貴、寺西亮雄、池上方基、武裕士郎、鈴木隼、大井川秀聡、神山信也：Multimodality時代の脳動脈瘤直達術. 脳外誌 28: 127-133, 2019

病理診断科

Watanabe K, Ogura T, Suda T, Terasaki Y, Homma S, Azuma A, Kawabata Y, Ishii H, Hebisawa A, Kiyomi F, et al. Criteria for the diagnosis of idiopathic pleuroparenchymal fibroelastosis: A proposal. Respiratory Investigation. 2019; 57:312-320. (原著)

Chonan T, Amata A, Kawabata Y, Omae K. Indium Lung. Tohoku J Exp Med. 2019;248:143-150. (原著).

Tanaka J, Hebisawa A, Oguma T, Tomomatsu K, Suzuki J, Shimizu H, Kawabata Y, Ishiguro T, Takayanagi N, Fukunaga K, Taniguchi M, Ono J, Ohta S, Izuhara K, Asano K. Evaluating serum periostin levels in allergic bronchopulmonary aspergillosis. Allergy. 2020; 75: 974-977. (原著)

Kawabata Y. Asbestos exposure results in asbestosis and usual interstitial pneumonia like other causes of pneumoconiosis. In. Asbestos-related Diseases, ed. Ohtyuki Y. ISBN 978-1-83880-832-7, DOI:http://dx.doi.org/10.5772/intechopen.89247. (総説)

河端美則. 石綿肺と鑑別診断. 社会労働衛生. 2019; 17: 31-56. (総説)

天田敦子, 長南達也, 藪内悠貴, 市村秀夫, 名和 健, 河端美則. インジウム肺に合併した肺癌の1症例. 日呼吸誌. 2019; 8: 158-162. (症例)

沼上秀博, 舟橋光政, 宮川芽依, 草間冬子, 鈴木 敦, 清水禎彦. 気管支材料細胞診においてスクリー

ニングで拾い上げることが困難であった肺原発カルチノイドの1例, 埼臨細胞会誌, 2019: 37: 23-27.
(症例)

山川英晃, 積山慧美里, 太田啓喜, 安達章子, 清水禎彦, 松島秀和, 肺胞出血を合併した前立腺癌による pulmonary tumor thrombotic microangiopathy の1例, 日呼吸誌, 2019: 8: 349-353. (症例)

検査技術部

沼上 秀博, 舟橋 光政, 宮川 芽依, 草間 冬子, 鈴木 敦, 清水 禎彦

気管支材料細胞診においてスクリーニングで拾い上げることが困難であった肺原発カルチノイドの1例
埼玉県臨床細胞学会誌 第37巻 Page23-27 2019年

臨床工学部

羽鳥翔太: 温風式加温器による加温が膜型人工肺の結露におよぼす影響の実験的検討
体外循環技術, 47(1);47-54, 2020

看護部

重久加代子, 下永吉麻里, 兵頭明和; がん患者の能動的実践的態度へのケアリング行為の影響の分析
宮崎県立看護大学研究紀要 第20巻 第1号 別冊

3 学会・研究発表等

循環器内科

【一般学会研究会発表(演者)】

第54回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会

重症大動脈弁狭窄症、冠動脈高度石灰化病変合併例に対する治療方針の検討

野村充希 宮本敬史 村上彰通 奥山虎章 前原智紀 利根川玲奈 河邊篤彦 宇野剛輝

工藤雅人 永吉信哉 藤井真也 鈴木輝彦 藤原堅祐 中島崇智 武藤誠

2019年5月11日 大手町サンケイプラザ

塚田 尚子 CVIT総会

検索付着異常があるにも関わらずPTSMAが有効であった閉塞性肥大型心筋症の一例

2019年9月21日

中島 崇智 WASOG/JSSOG2019 Symposium6

Cardiac Magnetic Resonance Imaging in the Diagnosis and Management of Cardiac Sarcoidosis

2019年10月10日 世界サルコイドーシス学会/日本サルコイドーシス学会パシフィコ横浜

永吉 信哉 第55回日本心血管治療学会 関東地方会

冠攣縮性狭心症が疑われる症例への当院での左冠動脈アセチルコリン200 μ g 負荷試験の検討

2019年10月12日

武藤 誠 第33回日本冠疾患学会学術集会

Bi-directional knuckle wire法およびELCAが有効であったRCA CTO症例

2019年12月18日 岡山

第76回埼玉Interventional Cardiology研究会

「IVUSで同定できなかった残存血栓をOFDIで確認できたステント血栓症の一例」

塚田尚子 村上彰通 松尾圭祐 野村充希 野々上明 藤井真也 永吉信哉 鈴木輝彦

宮本敬史 藤原堅祐 中島崇智 武藤誠 織井恒安

2020年2月15日 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 6F ホール6A

武藤 誠 第76回埼玉Interventional Cardiology研究会

「High energy ELCAが有効であったRCA CTO」

2020年2月15日 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 6F ホール6A

鈴木輝彦 第76回埼玉Interventional Cardiology研究会

「High energy ELCAが有効であったRCA CTO」

2020年2月15日 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 6F ホール6A

【一般学会研究会発表(座長)】

武藤 誠 第54回日本心血管インターベンション治療学会 関東甲信越地方会

審査委員 2019年5月11日 大手町サンケイプラザ

武藤 誠 第28回日本インターベンション治療学会 CVIT2019

コメンテーター 2019年9月20日 名古屋国際会議場

武藤 誠 第28回日本インターベンション治療学会 CVIT2019
CTO2 座長
2019年9月21日 名古屋国際会議場

宮本 敬史 第253回 日本循環器学会関東甲信越地方会
セッションII-4 大動脈 座長

武藤 誠 第33回日本冠疾患学会学術集会
内科シンポジウム2「石灰化病変を極める」 座長
2019年12月13日 岡山

武藤 誠 第76回埼玉Interventional Cardiology研究会 座長・当番幹事
2020年2月15日 TKP大宮駅西口カンファレンスセンター 6F ホール6A

武藤 誠 第1回埼玉県立循環器・呼吸器病センター CTO & Complex Workshop
CTO Live Demonstration
2019年5月30日 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 2Fカテ室

鈴木 輝彦 第1回埼玉県立循環器・呼吸器病センター CTO&Complex Workshop
Complex PCI Live Demonstration
2019年5月30日 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 2Fカテ室

武藤 誠 第2回埼玉県立循環器・呼吸器病センター CTO&Complex Workshop
CTO Live Demonstration
2020年1月24日 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 2Fカテ室

鈴木 輝彦 第2回埼玉県立循環器・呼吸器病センター CTO&Complex Workshop
Complex PCI Live Demonstration
2020年1月24日 埼玉県立循環器・呼吸器病センター 2Fカテ室

血管外科

International Joint Meeting on Cardiovascular Disease 2019.9

Makoto Sumi, Yasutake Momokawa, Riha Shimizu, Makoto Hanai, Takao Ohki. Surgeon-modified Branched Thoracic Endovascular Aortic Repair for the Treatment of Aortic Arch Aneurysm

第49回日本心臓血管外科学会学術総会, 岡山, 2019年2月, 会長要望演題.

墨誠, 高橋潤次, 百川文健, 灰田周史, 中村賢, 花井信, 織井恒安, 大木隆生. 弓部大動脈瘤に対する Surgeon-Modified 枝付きステントグラフト術の初期・中期成績

第119回 日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2019年4月, ポスター,
高橋 潤次, 墨誠, 百川文健, 灰田周史, 花井信, 大木隆生, 腹部ステントグラフト内挿術後Type1bエ
ンドリーク予測因子の検討

第119回 日本外科学会定期学術集会, 大阪, 2019年4月, ポスター,
百川文健, 墨誠, 高橋潤次, 灰田周史, 花井信, 大木隆生, EVAR術後のpost implantation syndromePIS
は、瘤径縮小・Type 2エンドリークに關与するか

第25回 日本血管内治療学会学術総会, 東京, 2019年8月,
墨誠, 百川文健, 花井信, 大木隆生, ヨード造影剤を用いない腹部ステントグラフト術の経験と注意点

第13回 Japan Endovascular Symposium, 東京, 2019年8月, シンポジウム,
墨誠, エンドリークを減らすための当院での取り組み,

第59回 日本脈管学会学術総会, 東京, 2019年10月,
門脇 裕太, 山口 彩香, 大澤 伸, 浅石 竜輝, 高橋 彩子, 星 俊子, 百川 文健, 墨 誠, EVAR後経過観察
超音波検査での継時的エンドリーク検出における感度・特異度の検討

CCT 2019, 神戸, 2019年10月
墨誠、清水理葉、百川文健、灰田周史、阿部貴行、中村賢、花井信、織井恒安、
Surgeon-modified Branched Thoracic Endovascular Aortic Arch Repair

第1回PAD Open Conference in Kitakanto, 大宮, 2019年11月,
墨誠、清水理葉、百川文健, SFA stent 後仮性動脈瘤(破裂)の1例

第47回獨協医学会学術集会, 栃木, 2019年12月
・清水理葉, 血液流動性試験の検討。(ポスター)

第182回血管外科症例検討会, 東京, 2019年12月
・清水理葉, 百川文健, 花井信, 墨信, 感染性動脈瘤に対して腹部大動脈ステントグラフト内挿術で
bridgingに大腿静脈を用いて大動脈置換術を行った1例。(口演)

心臓外科

第24回冠動脈外科学会
Giant Saccular Aneurysm from Left Proximal Main Coronary Artery
中村賢、灰田周史、阿部貴行、花井信、織井恒安

第180回日本胸部外科学会関東甲信越地方会
僧帽弁位人工弁周囲逆流の心房中隔壁を用いた修復経験
阿部貴行 織井恒安 花井信 中村賢 灰田周史

第180回 日本胸部外科学会関東甲信越地方会

成人大動脈縮窄を伴う大動脈弁狭窄症に対し手術を行った一例
灰田周史、阿部貴行、中村賢、花井信、織井恒安

第10回 日本心臓弁膜症学会

左室瘤を合併した乳頭筋部分断裂による僧帽弁閉鎖不全症に対して僧帽弁形成術、左室形成術を行った一症例

灰田周史、阿部貴行、中村賢、花井信、織井恒安

放射線科

高田直美、上田みゆき、叶内哲、高橋伸政、清水禎彦、結節性リンパ組織過形成の一例、第33回胸部放射線研究会、名古屋(2019-10)

呼吸器内科

抗MDA-5抗体陽性間質性肺炎の臨床的検討

古部 暖、鍵山奈保、秋山勇人、石川周成、廣田周子、細田千晶、西田 隆、中元康雄、河手絵理子、小林洋一、石黒 卓、高久洋太郎、倉島一喜、柳澤 勉、高柳 昇

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

生物学的製剤使用関節リウマチ(RA)患者の併発結核と非使用RA患者併発結核との比較

神崎裕二、鍵山奈保、石黒 卓、高久洋太郎、倉島一喜、柳澤 勉、高柳 昇

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

関節リウマチ(RA)に合併したクリプトコッカス症・アスペルギルス症の臨床像の検討

細田千晶、高久洋太郎、石川周成、古部暖、廣田周子、秋山勇人、西田隆、中元康雄、小林洋一、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、高柳昇

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

高流量鼻カニューラ酸素療法導入前後各4年における非侵襲的陽圧換気、挿管例の推移：重症呼吸不全345例の検討

廣田周子、高柳昇、石川周成、秋山勇人、古部暖、西田隆、中元康雄、細田千晶、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

肺炎で入院した患者の長期予後に関する検討

秋山勇人、石黒卓、石川周成、古部暖、廣田周子、西田隆、中元康雄、小林洋一、細田千晶、高久洋太郎、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、高柳昇

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

気管支喘息患者の発作時ならびに回復時の粘液栓の解析

吉田悠貴、高久洋太郎、西田 隆、中元康雄、河手絵理子、石黒 卓、鍵山奈保、柳澤勉、高柳 昇、

滝沢始、倉島一喜、

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

気管支喘息・COPDの診療において誤診を生じる診療内容の検討

石川周成、高久洋太郎、倉島一喜、秋山勇人、古部暖、廣田周子、西田隆、中元康雄、小林洋一、細田千晶、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、柳澤勉、高柳昇

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

間質性肺炎合併非小細胞癌非手術例の臨床的検討

小林洋一、鍵山奈保、石川周成、秋山勇人、古部暖、廣田周子、西田隆、中元康雄、細田千晶、石黒卓、高久洋太郎、倉島一喜、高久洋太郎、柳澤勉、高柳昇

第59回日本呼吸器学会学術講演会 平成31年4月12日、東京

対側肺に肺腺癌を伴った限局性肺胞蛋白症の1例

古部 暖、鍵山奈保、秋山勇人、石川周成、廣田周子、細田千晶、西田 隆、中元康雄、河手絵理子、小林洋一、石黒 卓、高久洋太郎、倉島一喜、柳澤 勉、清水禎彦、高柳 昇

第234回日本呼吸器学会関東地方会、平成31年5月25日、東京

2度目のステロイドパルス療法が奏功した粟粒結核に合併した血球貪食症候群の1例

秋山勇人、中元康雄、石川周成、古部暖、廣田周子、西田隆、小林洋一、細田千晶、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、清水禎彦、高柳昇

第235回日本呼吸器学会関東地方会、平成31年7月13日、東京

気管支肺胞洗浄液のリンパ球比率は慢性過敏性肺臓炎(CHP)の予後因子である

西田 隆、河手絵理子、鍵山奈保、石川周成、古部暖、廣田周子、中元康雄、細田千晶、小林洋一、石黒 卓、高久洋太郎、倉島一喜、高柳 昇

第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会、令和元年7月4日、東京

ベンラリズマブが奏功した好酸球性細気管支炎の1例

石川周成、高久洋太郎、秋山勇人、古部暖、廣田周子、西田隆、中元康雄、小林洋一、細田千晶、石黒卓、高久洋太郎、鍵山奈保、柳澤勉、高柳昇、倉島一喜、

第235回日本呼吸器学会関東地方会、令和元年7月13日、東京

関節リウマチ診療における呼吸器疾患

高柳 昇

第15回リウマチ関連疾患研究会 令和元年8月28日、熊谷

ライノウイルス肺炎の2例

森本康弘、石黒 卓、高野賢治、春日啓介、小澤亮太、磯野泰輔、細田千晶、西田 隆、河手絵理子、小林洋一、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤 勉、高柳 昇

第236回日本呼吸器学会関東地方会、令和元年9月21日、東京

経過中に合併したRS3PE症候群による肺病変が出現した特発性肺線維症の1例

細田千晶 森本康弘 高野賢治 春日啓介 小澤亮太 磯野泰輔 西田 隆 河手絵理子 小林洋一 石

黒 卓 高久洋太郎 鍵山奈保 倉島一喜 柳澤 勉 高柳 昇
第236回日本呼吸器学会関東地方会、令和元年9月21日、東京

肺癌手術病理所見を契機に診断した野生型TTRアミロイドーシスの1例
廣田周子、小林洋一、石川周成、秋山勇人、古部緩、西田隆、中元康雄、細田千晶、高久洋太郎、石
黒卓、鍵山奈保、倉島一喜、柳澤勉、清水禎彦、高柳昇
第237回日本呼吸器学会関東地方会、令和元年11月23日、東京

多臓器不全より救命し得た インフルエンザウイルス・細菌混合性肺炎の1例
西田 隆、石黒 卓、春日 啓介、高野 賢治、森本 康弘、磯野 泰輔、小澤 亮太、細田千晶、河
手 絵理子、小林洋一、高久洋太郎、鍵山奈保、倉島一喜、柳沢 勉、高柳 昇
日本内科学会第656回関東地方会、令和元年12月14日、東京

ヒトメタニューモウイルスによるびまん性急性感染性細気管支炎の一例
高野 賢治、石黒 卓、森本 康弘、春日 啓介、小澤 亮太、磯野 泰輔、西田 隆、細田 千晶、河手 絵理
子、小林 洋一、高久 洋太郎、鍵山 奈保、倉島 一喜、柳澤 勉、高柳 昇
第238回日本呼吸器学会関東地方会、2020年2月、東京

EPMA元素分析で原因物質を特定しえたCaplan症候群の1例
春日 啓介、高久 洋太郎、高野 賢治、石黒 卓、森本 康弘、小澤 亮太、磯野 泰輔、西田 隆、細田 千
晶、河手 絵理子、小林 洋一、鍵山 奈保、倉島 一喜、柳澤 勉、高柳 昇
第239回日本呼吸器学会関東地方会、2020年5月、東京

呼吸器外科

Horiuchi S, Saito Y, Morooka H, Ibi T, Takahashi N, Ikeya T, Hoshi E, Shimizu Y. ANALYSIS
OF LUNG ADENOCARCINOMA EGFR MUTATION BY LAMP METHOD COMPARISON WITH
PCR METHOD AND IDENTIFICATION OF A NOVEL EXON19 DELETION MUTATION 20th
World Conference on Lung Cancer. September 7-10, 2019, Barcelona, Spain.

Saito Y, Horiuchi S, Morooka H, Ibi T, Takahashi N, Ikeya T, Hoshi E, Shimizu Y. Inter-tumor
Heterogeneity of PD-L1 Expression in Non-Small Cell Lung Cancer. 20th World Conference on
Lung Cancer. September 7-10, 2019, Barcelona, Spain.

揖斐孝之、堀内翔、諸岡宏明、齋藤雄一、高橋伸政、池谷朋彦、星永進。左上肺静脈共通幹を切離し、
再建した左上葉切除の1例 第29回三地区合同肺癌・呼吸器疾患研究会 2019年4月6日 郡山市

脇本 信。特発性血胸を合併した von Recklinghausen 病の1例 第36回日本呼吸器外科学会学術集会
2019年5月16日 大阪

諸岡宏明、堀内翔、揖斐孝之、齋藤雄一、高橋伸政、池谷朋彦、星永進。当科における胸腔内洗浄細
胞診陽性症例の検討 第36回日本呼吸器外科学会学術集会 2019年5月16日 大阪

諸岡宏明、脇本 信、堀内翔、揖斐孝之、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． 気管原発腺様嚢胞癌に対して気管分岐部切除を行いmontage型気管-気管支形成術で再建しえた一手術例 第9回 Saitama Surgery Team for thoracic disease 2019年6月14日 大宮

諸岡宏明、脇本 信、堀内翔、揖斐孝之、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． 右肺癌上葉切除術後早期に残存下葉の気腫部破裂を認めた一例 第22回 埼玉県外科医会 外科臨床問題検討会 2019年7月27日 大宮

高橋伸政、堀内翔、諸岡宏明、揖斐孝之、齋藤雄一、池谷朋彦、星永進、石黒卓、清水禎彦． 中葉気管支原発MALTリンパ腫の一切除例 第42回日本呼吸器内視鏡学会学術集会 2019年7月4-5日 東京

揖斐孝之、脇本信、堀内翔、諸岡宏明、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． 増大傾向を認め肺癌が疑われた炎症性偽腫瘍の一手術例 第185回 日本肺癌学会関東支部学術集会 2019年7月 東京

高橋伸政、脇本信、堀内翔、諸岡宏明、揖斐孝之、池谷朋彦、星永進、浅沼晃三． 肺癌術後、脳梗塞発症についての臨床的検討 第72回日本胸部外科学会定期学術集会 2019年10月30日-11月2日 京都

諸岡宏明、脇本 信、堀内翔、揖斐孝之、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． 「気管原発腺様嚢胞癌に対して気管分岐部切除を行いmontage型気管-気管支形成術で再建しえた一手術例」 第72回 日本胸部外科学会定期学術集会 2019年10月30日-11月2日 京都

高橋伸政、脇本信、堀内翔、諸岡宏明、揖斐孝之、池谷朋彦、下田純子、清水禎彦、星永進、浅沼晃三． 肺癌におけるPD-L1 発現・EGFR 変異の関連およびEGFR 変異陽性例における免疫チェックポイント阻害剤の効果 第60回日本肺癌学会学術集会 2019年12月6-8日 大阪

諸岡宏明、脇本 信、堀内翔、揖斐孝之、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． 胸骨合併切除を要した胸腺癌切除例について 第37回 埼玉県外科集談会 2019年11月30日 大宮

高橋伸政、澤端章好、川村雅文、大塚崇、堀尾裕俊、坂口浩三、中山光男、吉谷克維、千田雅之、星永進． 肺癌消極的縮小手術の成績と至適縮小手術 — 縮小手術多施設前向き研究(KLSG-0801)の結果を踏まえて — 第60回日本肺癌学会学術集会 2019年12月6-8日 大阪

堀内翔、脇本信、諸岡宏明、揖斐孝之、高橋伸政、池谷朋彦、星永進、清水禎彦． LAMP法による肺癌EGFR遺伝子変異検査の検討 第60回日本肺癌学会学術集会 2019年12月6-8日 大阪

揖斐孝之、脇本信、堀内翔、諸岡宏明、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． 80歳以上の臨床病期I期非小細胞肺癌に対する肺部分切除術の手術成績 第60回日本肺癌学会学術集会 2019年12月6-8日 大阪

堀内翔、脇本信、諸岡宏明、揖斐孝之、高橋伸政、池谷朋彦、星永進． Uni-Portal VATS導入の経験 Saitama Uni-Portal VATS seminar 2020年1月18日 大宮

脳神経外科

吉川雄一郎、柴田碧人、古峰弘之、根木宏明、栗田浩樹：動脈瘤手術における複数のマイクロ剪刀を用いた剥離操作の工夫。第28回脳神経外科手術と機器学会(CNTT 2019) (2019.4.12-13 岡山)

根木宏明、柴田碧人、古峰弘之、吉川雄一郎：急性期脳梗塞に対する当院の取り組み -院内発症脳梗塞への影響-。第17回埼玉北部脳血管障害研究会(2019.6.19 深谷)

吉川雄一郎：一筋縄ではいかなかった内頸動脈瘤のクリッピング。脳神経外科難症例手術研究会 2018 IN OKINAWA (2019.6.28 那覇)

柴田碧人、池田俊貴、上出智也、鈴木海馬、吉田馨次郎、神山信也、塩川芳昭、栗田浩樹：細菌性脳動脈瘤の治療経験。第6回日本心血管脳卒中学会学術総会(2019.6.29 上野)

吉川雄一郎、柴田碧人、根木宏明、古峰弘之、栗田浩樹：症候性海綿静脈洞部内頸動脈瘤に対する high-flow bypass 併用母血管遮断術後の症状消失に関与する因子の検討。第78回日本脳神経外科学会学術総会(2019.10.9-12 大阪)

柴田碧人、古峰弘之、根木宏明、吉川雄一郎：当施設における脳腫瘍治療の実際と今後の課題。第1回脳腫瘍セミナー(2019.9.27 熊谷)

根木宏明：脳神経外科領域の医療機器開発促進のために脳神経外科専門医が行政にいる意味。第78回日本脳神経外科学会総会(2019.10.9-12 大阪)

根木宏明：神経内視鏡領域の医療機器開発促進のために脳神経外科専門医が行政にいる意味。第26回日本神経内視鏡学会(2019.11.8 横浜)

柴田碧人、上出智也、吉川信一郎、古峰弘之、根木宏明、吉川雄一郎、神山信也、栗田浩樹：破裂小型内頸動脈-後交通動脈分岐部瘤の臨床および形態学的特徴。第13回埼玉ブレインセミナー(2019.11.15 深谷)

根木宏明、柴田碧人、古峰弘之、吉川雄一郎：埼玉県における新規脳卒中センター設立による体制整備が及ぼす院内発症脳梗塞へ与える影響。第35回日本脳神経血管内治療学会総会(2019.11.22 福岡)

Neki Hiroaki, Shibata Aoto, Komine Hiroyuki, Kikkawa Yuichiro: Acute endovascular procedure for the stroke after TAVI - a case report-. 第55回西関東NeuroIVRセミナー(2019.12.07 大宮)

根木宏明、柴田碧人、古峰弘之、吉川雄一郎：高齢者の多い医療過疎地域における脳梗塞に対する血管内治療。第25回脳神経外科救急学会(2020.2.7 川越)

柴田碧人、古峰弘之、根木宏明、吉川雄一郎：TAVI後に発症した急性期脳梗塞に対して急性期血行再建術を施行した1例。第17回日本脳神経血管内治療学会関東地方会(2020.2.15 東京)

根木宏明、柴田碧人、古峰弘之、吉川雄一郎：急性期脳卒中の時短への取り組みが及ぼす他科への影響 - 循環器内科主体の病院における新規脳神経センター開設の特徴 -。Stroke 2020(2020 web開催)

吉川雄一郎、柴田碧人、古峰弘之、根木宏明、鈴木海馬、池田俊貴、栗田浩樹：大型動脈瘤に対する有窓クリップを用いたdome deformation techniqueの有効性。第45回日本脳卒中学会集会・第49回日本脳卒中の外科学会学術集会(STROKE 2020) (20/3/26-28 COVID19によりWeb開催)

病理診断科

山崎泰樹，河野哲也，加藤智美，鶴岡慎悟，大澤久美子，金守 彰，清水禎彦。精度管理を意識したスライドセミナー方式の研修会報告 - 集計結果から当たり前を探る -。第60回日本臨床細胞学会総会(春期大会)。2019年6月7-9日，東京。

リハビリテーション科およびリハビリテーション部

洲川明久

当センターにおけるTAVI症例のリハビリテーション治療

第56回日本リハビリテーション医学会学術集会 神戸 2019.6.14

放射線技術部

門脇裕太，山口彩香，浅石竜輝，高橋彩子，大澤伸，星俊子，百川文健，墨誠：EVAR後経過観察超音波検査での継時的エンドリーク検出における感度・特異度の検討，第60回日本脈管学会総会，2019.10月，東京。

山本壮一，田島修，吉武雄二，坂本正文，中島崇智：心筋血流SPECT解析ソフトウェアと読影医間での読影精度の比較検討，第47回日本放射線技術学会秋季学術大会，2019.10，大阪。

田島修，坂本正文，中島崇智，武藤誠：Door to balloon time (DTBT)の現状と問題点，第28回日本心血管インターベンション治療学会，2019.9，名古屋。

田島修，：Door to balloon timeの短縮に向けて，第35回日本放射線技師会総合学術大会，2019.9，さいたま。

田島修，山本壮一，吉武雄二，坂本正文，中島崇智：AIを用いた心筋血流SPECT解析ソフトウェアの読影精度の検討，第66回JSRT関東支部研究発表大会，2019.11，千葉。

検査技術部

横田 進、油座 記子、柳 弘子、藤原 堅祐

7日間イベントホルター心電図のRR間隔ローレンツプロットの有用性

第39回 ホルター・ノンインベンシブ心電学研究会 2019年6月8日、東京

草間 冬子、油座 記子、柳 弘子、平山 真人、大久保 輝男、横田 進、鈴木 みどり
当院における4器種イベント心電計の比較検討及び今後の展望
第47回埼玉県医学検査学会 2019年12月1日 さいたま市

樋口 翔大、鳥羽 里穂、須江 義孝、吉岡 浩明、鈴木 みどり
喀痰前処理液アシッドプラスを用いた抗酸菌固形培養の検討
第47回埼玉県医学検査学会 2019年12月1日 さいたま市

横田進、鈴木みどり
Microsoft WordとExcelのマクロ機能を用いた文書管理プログラムの試作
第47回埼玉県医学検査学会 2019年12月1日 さいたま市

臨床工学部

人工心肺におけるACT値の違いが及ぼす影響に関する検討
中島あゆみ、黒岩清一郎、中林将大、大石航平、藤井拓也、小暮俊一、加藤和也、植木弘一、西田慎一、中嶋康仁、染谷忠男
第29回埼玉臨床工学会 2019年6月2日

当院における植込みデバイス遠隔モニタリングシステムの運用の現状と課題
藤井拓也、小暮俊一、大石航平、中島あゆみ、羽鳥翔太、加藤和也、黒岩清一郎、植木弘一、西田慎一、中嶋康仁、染谷忠男
第29回埼玉臨床工学会 2019年6月2日

open ICUにおけるVV ECMO導入の妥当性についての検討
加藤和也、大石航平、中島あゆみ、羽鳥翔太、藤井拓也、小暮俊一、黒岩清一郎、榊田真一、植木弘一、西田慎一、中嶋康仁、染谷忠男
第29回埼玉臨床工学会 2019年6月2日

当センターにおける心臓カテーテル業務の実際と課題
大石航平、加藤和也、中島あゆみ、羽鳥翔太、藤井拓也、小暮俊一、榊田真一、黒岩清一郎、植木弘一、西田慎一、中嶋康仁、染谷忠男
第29回埼玉臨床工学会 2019年6月2日

人工心肺操作における脱血流量測定の有用性
中林将大、黒岩清一郎、中島あゆみ、藤井拓也、小暮俊一、加藤和也、植木弘一、西田慎一、中嶋康仁、染谷忠男
第29回埼玉臨床工学技士会 2019年6月2日

肺胞蛋白症の全肺洗浄に対する当部の取り組み
鎌田浩聡、黒岩清一郎、中林将大、大石航平、中島あゆみ、藤井拓也、小暮俊一、加藤和也、植木弘

一、西田慎一、中嶋康仁、染谷忠男

第29回 埼玉県臨床工学技士会 2019年6月2日

看護部

吉野千尋, 山田香織, 鳥居真由美, 蓮見歩弓, 八木道子, 小池美由紀, 川上幸子:『コミュニケーションシート』を用いた新人看護師の感情の分析～『フェイススケール』を活用して～

2019. 11. 30 第36回 埼玉県看護協会第1支部 看護研究発表会(埼玉県)

吉野千尋, 山田香織, 鳥居真由美, 蓮見歩弓, 八木道子, 小池美由紀, 川上幸子:『コミュニケーションシート』を用いた新人看護師の感情の分析～『フェイススケール』を活用して～

2019. 12. 7 第27回 埼玉看護研究学会(埼玉県)

4 講演等

循環器内科

【講演、セミナー、シンポジウム（演者、パネル）】

宮本 敬史 秩父郡市クリニカルカンファレンス

TAVI開始から1年を迎えて～誰にTAVIを行うべきか、心房細動とASの関係～
2019年4月11日 ナチュラルファームシティ 農園ホテル

武藤 誠 KOWA WEBカンファレンス

冠動脈カテーテルインターベンション～過去から現在、未来～
2019年4月26日

宮本 敬史 出張いきいき健康塾in深谷

心臓弁膜症ってどんな病気？～最新の診断と治療とは～
2019年6月6日

武藤 誠 東京慈恵会医科大学埼玉支部学術講演会

『冠動脈カテーテルインターベンション～過去から現在、未来～』
2019年6月8日 パレスホテル大宮 3F「チェリールーム」

宮本 敬史 比企循環器連携講演会

その心房細動どう治療しますか？～心房細動を見つけたら・・・心房細動と弁膜症～
2019年6月26日

宮本 敬史 埼玉県救急隊員研修会

1. 弁膜症の最新治療～大動脈弁狭窄症・TAVIのお話～
2019年6月27日

永吉 信哉 第六回循環器レクチャー

CTEPH治療のゴールを考える
2019年7月5日 群馬大学

武藤 誠 TOPIC2019 Final Announcement

Pitfall of reverse CART

practical workshop for Intervention fellows. part 4 Complication

2019年7月11-13日 セルリアンタワー東急ホテル

武藤 誠 TOPIC2019 Final Announcement

How do we check collateral channel

CTO Summit Part 1

2019年7月11-13日 セルリアンタワー東急ホテル

武藤 誠 TOPIC2019 Final Announcement

When should we perform stent reverse CART and guide extension reverse CART
CTO summit part 3

2019年7月11 - 13日 セルリアンタワー東急ホテル

宮本 敬史 鴻巣市医師会学術講演会
当院におけるTAVIの現状 ～弁膜症外来からのメッセージ～
2019年7月17日

宮本 敬史 太田記念病院講演会
2. 弁膜症の最新治療 ～大動脈弁狭窄症・TAVIのお話～
2019年7月24日

藤井 真也 静脈血栓症予防対策委員会
知っておこうやってみよう入院患者の静脈血栓症予防
2019年7月25日

中島 崇智 熊谷糖尿病ネットワーク第22回特別例会兼熊谷市内科医会勉強会
『循環器疾患と高血圧のかかわり』
2019年8月2日 埼玉県熊谷市

武藤 誠 埼玉県看護協会講演
「心臓カテーテル検査と治療」「急性冠症候群の診断、治療と2次予防」
2019年8月9日 西大宮

宮本 敬史 病院県職員講演会
3. 弁膜症の最新治療 ～大動脈弁狭窄症・TAVIのお話～
2019年8月19日

宮本 敬史 出張いきいき健康塾 in 本庄
4. 心臓弁膜症ってどんな病気？～最新の診断と治療とは～
2019年8月19日

宮本 敬史 出張いきいき健康塾 in 行田
心臓弁膜症ってどんな病気？～最新の診断と治療とは～
2019年9月5日

宮本 敬史 第253回日本循環器学会 関東甲信越地方会
SAPIEN 3 時代におけるTAVIとは
ランチョンセミナー「最新の国内外TAVI事情」
2019年9月28日

宮本 敬史 第10回BAV Club
私の施設ではBAVをこう考える(Retro Inoue) ～TAVI時代におけるBAV道～
2019年10月11日

武藤 誠 医療法人花仁会 秩父病院 医療連携会
「冠動脈カテーテルインターベンション～過去から現在、未来～」
2019年10月17日 ナチュラルファームシティ 農園ホテル

宮本 敬史 令和元年度日本大学医学部同窓会群馬支部総会
重症大動脈弁狭窄症 (AS)に対する経カテーテル的大動脈弁留置術(TAVI：タビ)の当院の現状
2019年10月19日

中島 崇智 第23回心臓核医学フォーラム
『心臓サルコイドーシスの診療ガイドラインー組織診断群・臨床診断群と心臓限局性サルコイドーシスについてー』
2019年11月9日 東京都大手町カンファレンスセンター

宮本 敬史 第115回熊谷地区生活習慣病講演会
5. 利尿薬の使い方～新しい利尿薬に期待するもの～TAVIとMitra Clipとの位置づけ～
2019年11月28日

宮本 敬史 比企医師会学術講演会
TAVIをしてみてもわかったこと～心房細動と弁膜症の関係～
2019年12月5日

宮本 敬史 小川赤十字病院 講演会
その心房細動どう治療しますか？～心房細動を見つけたら・・・心房細動と弁膜症～
2019年12月6日

武藤 誠 KCT Live Demonstration2019
2019年12月7日 TKPガーデンシティ PREMIUM大宮

宮本 敬史 埼玉県北部循環器医療連携セミナー
『僧帽弁のつかみ方～Mitra Clipのお話し～』
2019年12月9日 埼玉グランドホテル深谷

宮本 敬史 出張いきいき健康塾 in鴻巣
心臓弁膜症ってどんな病気？～最新の診断と治療とは～
2019年12月12日

宮本 敬史 本庄市児玉郡医師会学術講演会
利尿薬の使い方～新しい利尿薬に期待するもの TAVIとMitra Clipとの位置づけ～
2020年1月31日

宮本 敬史 令和元年度 埼玉県消防長会救急部会
心臓弁膜症カテーテル治療の最前線～TAVI (タビ) Mitra Clip (マイトラクリップ)のお話し～
2020年2月7日

永吉 信哉 慢性血栓性肺高血圧症 (CTEPH) と BPA の話題
慢性完全閉塞病変に対する当院での BPA の試み
2020年2月7日 新潟大学

【講演、セミナー、シンポジウム (座長, パネル)】

武藤 誠 秩父郡市クリニカルカンファレンス
2019年4月11日 ナチュラルファームシティ農園ホテル

藤井 真也 BPA club 座長
2019年5月14日 東邦大学医療センター大橋病院

武藤 誠 ADATARA LIVE DEMONSTRATION 2019
Live Demonstration②座長
2019年6月6日 ビックパレットふくしま メグレズホール (星総合病院)

武藤 誠 埼玉県西部カテーテルセミナー
「Rotablater/Diamondbackなしで石灰化病変に挑む！」 座長
2019年6月10日 川越プリンスホテル 3F ゴールド

武藤 誠 CTO Club 座長
Live Case Transmission 4
2019年6月14-15日

武藤 誠 CTO Club コメンテーター
Breakfast Meeting: Live Case Pre-discussion Session
2019年6月14 - 15日

武藤 誠 熊谷地区生活習慣病講演会 座長
2019年6月24日 ガーデンパレスホテル2F「千鳥」

藤井 真也 第六回循環器レクチャー CTEPH治療のゴールを考える コメンテーター
2019年7月5日 群馬大学

武藤 誠 TOPIC2019 Final Announcement インストラクター
3.Retrograde CYOトラッキング法
2019年7月11 - 13日 セルリアンタワー東急ホテル

武藤 誠 TOPIC2019 Final Announcement コメンテーター
PCI Live Demonstration 8
2019年7月11 - 13日 セルリアンタワー東急ホテル

武藤 誠 第75回埼玉Interventional Cardiology研究会 座長